

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 1 月 14 日作成)

小委員会名	クールルーフ適正普及促進小委員会	主 査 名：竹林 英樹 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (都市環境・都市設備運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：清田 誠良
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒートアイランド適応策の研究事例収集，普及に向けた議論，評価方法の検討 ・海外の事例収集，情報交換 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：竹林英樹 (神戸大学) 幹事：三坂育正 (日本工業大学)，橋田祥子 (明星大学) 委員：赤川宏幸 (大林組)，井原智彦 (東京大学)，梅田和彦 (大成建設)，小島倫直 (竹中工務店)，近藤靖史 (東京都市大学)，酒井孝司 (明治大学)，田坂太一 (建材試験センター)，西岡真稔 (大阪市立大学)，村田泰孝 (崇城大学)，森山正和 (摂南大学)，吉田篤正 (大阪府立大学)，吉永美香 (名城大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2015 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fi00-12/fi50-15.html

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. クールルーフ技術の適正な普及に向け「夏の暑さ対策展 2015」に協力した。 2. ヒートアイランド適応策の研究事例収集，評価方法について議論した。 3. 海外事例収集として第 9 回都市気候国際会議の情報を報告し意見交換した。 4. 関連情報として自動車のクールルーフ化の情報を紹介頂き意見交換した。 5. 海外事例としてアクバリ教授に日射反射率低下促進試験の詳細を説明頂く。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 「クールルーフガイドブック」の更なる普及が今後の課題である。

2015 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>クールルーフ技術の適正な普及に向けた活動の一環として、「夏の暑さ対策展 2015」に竹林主査が代表で登壇し本小委員会の活動等を紹介した。吉田委員，三坂委員らも講演を行った。</p> <p>ヒートアイランド適応策の研究事例収集，評価方法の検討として，吉田委員より人体熱負荷量と温冷感の関係，非定常条件での実験結果などの説明を頂き，議論を行った。</p> <p>海外の事例収集，情報交換として，フランスツールズで開催された「第9回都市気候国際会議」の情報が竹林主査より報告された。注目された話題として，ローカルクライメートゾーン，気候変動への適応都市，サーマルウォークが紹介された。サーマルウォークに関連して意見交換，議論が行われた。</p> <p>クールルーフの関連技術情報として，自動車のクールルーフ化の情報を三木氏より紹介頂き，自動車業界における評価の枠組み等に関する情報交換を行った。</p> <p>都市環境・都市設備運営委員会主催の都市環境デザインフォーラムに本小委員会から竹林主査が代表で登壇した。</p> <p>海外の事例収集として，井原委員が招聘されたコンコルディア大学（カナダ）のハシム・アクバリ教授（東京大学特任教授）に日射反射率低下の促進試験方法の詳細を紹介頂き，委員会委員との情報交換を行う。この小委員会は公開で実施し関連の研究者等との情報交換もはかる。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。